

第23回九州地区聴覚障害教育研究大会（熊本大会）

大会主題「聴覚障がい教育の新たな展開を目指して」

熊本県立熊本聾学校

平成30年11月8日（木）～9日（金）の2日間にわたり、熊本聾学校を主管校として第23回九州地区聴覚障害教育研究大会（熊本大会）を開催しました。2日間で九州各県、熊本県内、本校職員、大学生を含め参加者は約200人にのぼり、本研究会の大会主題「聴覚障がい教育の新たな展開を目指して～社会情勢の変化や多様化する子どもの実態を踏まえた指導実践の工夫～」のもと、レポート発表や活発な意見交換を行いました。開会行事では、宮尾千加子教育長より御祝辞をいただきました。

11月8日（木） 大会1日目

1日目は本校の公開授業、研究授業を行いました。幼稚部、小学部、中学部、高等部の各学部での授業研究会では、授業や協議の柱に沿った意見交換だけでなく、助言者の先生方から授業改善につながる貴重な御助言がありました。

また記念講演では藤女子大学教授の原田公人氏から「聴覚障がい教育の今日的課題とその解決を目指して」という演題で、示唆に富んだ御講話をいただきました。



開会行事の様子



記念講演の様子
藤女子大学 原田公人教授



中学部 研究授業の様子
プログラミング学習



小学部研究協議会の様子

11月9日(金) 大会2日目

2日目は下記の5分科会に分かれて、九州各県の聾学校および聴覚特別支援学校からの実践レポートの発表や研究協議を行いました。

ことば 早期教育・幼稚部教育
センター的役割(地域支援)
外国語(英語)
自立活動(ICT活用)

共通理解や情報交換の場となり、助言者の先生方からは、国立特別支援教育総合研究所での調査や研究結果、最新の情報等についても御紹介があり、実り多き機会となりました。他県の教職員と共に聴覚障がい教育について研鑽を積むことができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

今大会で学んだ知識や指導・支援のあり方について今後も深めていくことができるよう、本校教職員一同励んでいきたいと思えます。



第5分科会の様子
自立活動(ICT活用)



幼稚部 研究授業の様子
おはなし

第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園

第3位獲得!(3年連続受賞)



受賞後の喜びの様子

平成30年10月7日に鳥取県米子市にて第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園が開催されました。

ビデオ審査の予選を勝ち進み、本選に出場しました。この大舞台での発表は今回で4回目。2016年に優勝、2017年に全日本ろうあ連盟賞、そして2018年には第3位と3年連続での受賞となりました。さらに練習を重ねて演技力を磨き、来年度の大会も頑張ります!